

U.S. Indicators

発表日: 2020 年 9 月 4 日(金)

米国 低下したが水準は低くない(8 月 ISM 非製造業)

～感染拡大が回復ペースを抑制～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel: 03-5221-5001)

20 年 8 月の I S M非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、56.9(前月 58.1)と前月比 1.2%p 低下し市場予想中央値 57.0(ブルームバーグ集計)を小幅下回った。感染拡大による行動制限もあり、重要な新規受注、活動指数が低下し、総合指数を押し下げた。もっとも、非製造業景気指数は拡大縮小の分岐点である 50 を大幅に上回っており、4 月下旬以降の経済活動の段階的な再開によって、非製造業部門が比較的堅調なペースで拡大を続けていることが示されている。

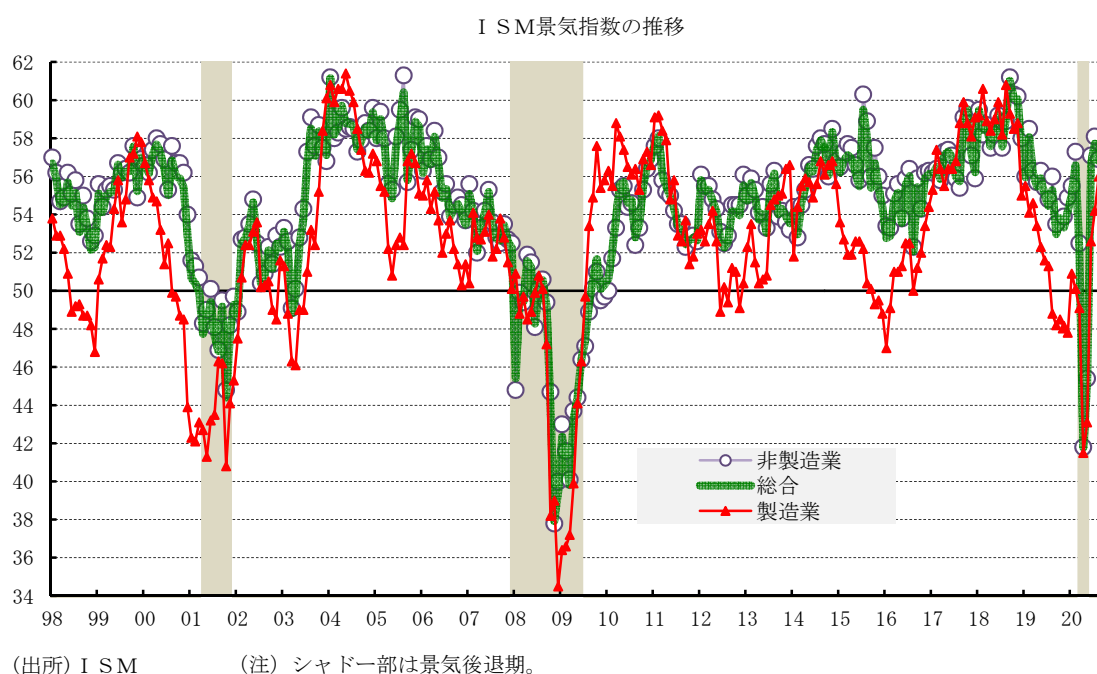
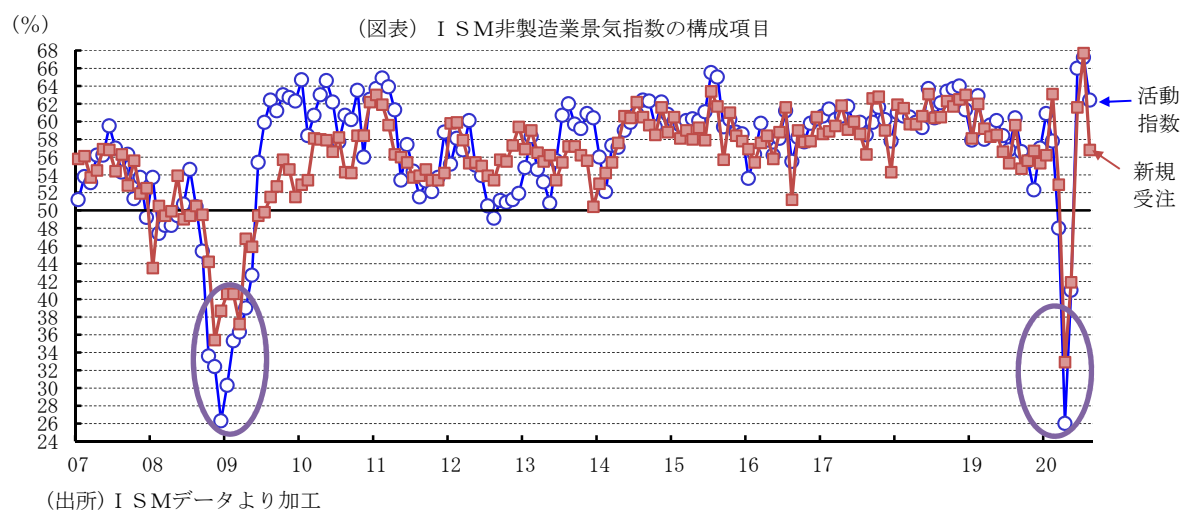
企業の回答では、事業の再開によって大部分が業況や経済への見方は楽観的だったものの、業界によってまちまちであることが示された。まだ再開していない業界があり、不透明性を懸念し続けていると報告された。また、パンデミックによって配送や受注の履行において生産能力と部材調達に課題があると報告されており、引き続きサプライチェーンに問題があることが指摘された。

総合指数の構成項目をみると、雇用が 47.9(前月 42.1、前月比+5.8%p)、入荷遅延が 60.5(前月 55.2、前月比+5.3%p)と上昇した一方、新規受注が 56.8(前月 67.7、前月比▲10.9%p)、活動指数が 62.4(前月 67.2、前月比▲4.8%p)と低下した。総合指数への寄与度では、雇用が前月比+1.45%p、入荷遅延が前月比+1.33p の押し上げ寄与となった一方、新規受注が前月比▲2.73%p、活動指数が前月比▲1.2%p の押し下げ寄与となった。サブ項目では、世界的な経済活動再開を背景に、新規輸出受注が 55.8(前月 49.3、前月比+6.5%p)と 50 を大幅に上回り、米国輸出が拡大していることを示している。

8 月の業種別の動向では、拡大した業種は、芸術・娯楽・レクリエーション、医療・社会支援、公益、宿泊・飲食サービス、運輸・倉庫、卸売業、建設業、小売業、企業向けサービス、公的部門、金融・保険、教育サービス、農林水産業、不動産業、専門・科学・技術サービスと全 18 業種中 15 業種と 7 月と変わらずとなった。一方、縮小した業種は、鉱業、情報産業、その他サービスの 3 業種と変わらなかった。

米国経済全体の景気動向を示す「I S M総合景気指数(非製造業景気指数と製造業景気指数で合成)」は、8 月に 56.8 と 7 月の 57.7 から 0.9%p 低下したが、7、8 月平均で 57.3 と 4-6 月期の 47.9 から上昇しており、7-9 月期に経済が急拡大していることを示している。

今後も、大規模なロックダウンが実施される可能性が低いなか、経済は回復を続けると予想される。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが高い伸びを続けており、ソーシャルディスタンスを考慮した制限の維持・強化によって、景気回復ペースは様々な制約を受け続けよう。このような状況のもと、I S M非製造業景気指数、総合景気指は 50 台半ば程度の水準で推移すると予想される。



I S M非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
20/01	55.5	60.9	56.2	53.1	51.7	45.5	55.5	50.1	46.5
20/02	57.3	57.8	63.1	55.6	52.4	53.2	50.8	55.6	53.9
20/03	52.5	48.0	52.9	47.0	62.1	55.0	50.0	45.9	41.5
20/04	41.8	26.0	32.9	30.0	78.3	47.7	55.1	36.3	46.9
20/05	45.4	41.0	41.9	31.8	67.0	46.4	55.6	41.5	48.0
20/06	57.1	66.0	61.6	43.1	57.5	51.9	62.4	58.9	60.7
20/07	58.1	67.2	67.7	42.1	55.2	55.9	57.6	49.3	52.0
20/08	56.9	62.4	56.8	47.9	60.5	56.6	64.2	55.8	45.8

(出所) I S M

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

